

第4回 花岡地区ユニカール大会



3月3日(日)に行われた「第4回花岡地区ユニカール大会」では、桜町や神山、本郷上など11チームが参加し、熱戦を繰り広げました。結果は以下の通りです。

【優勝】混合Dチーム

岩谷幸子さん・藤盛晟子さん・成田春幸さん

【準優勝】混合Aチーム

田中清美さん・佐藤正子さん・松澤香那子さん

【第3位】混合Bチーム

斉藤セイ子さん・藤盛秀子さん・阿部 司さん

『観桜会』開催のご案内

新型コロナウイルスの影響で中止となっておりました観桜会を4月25日(木)に開催することとなりました。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日時 令和6年4月25日(木)

午前11時開会

会場 花岡公民館講堂

会費 一人2,000円

※お申し込みは、町内会、サークル、婦人会等団体毎で取りまとめの上、公民館へ申し込みとなります。

【公民館からお知らせ】

出張所窓口の成田茂さんと公民館の篠村が異動となりました。短い間でしたが、大変お世話になりました。4月からは、窓口には小林淳一さんが、公民館には岩谷憲昭さんが来られます。皆様よろしくお願いいたします。

“フィーバー”
公民館ディスコ で地域&世代交流

3/9(土)比内公民館会場で、中高年中心に、少年スポーツチームも合流し、約60名の参加がありました。大画面に映る映像や音楽に合わせ、思い思いに体を揺らし懐かしいディスコ音楽を楽しみました。休憩タイムには、防災コーナー出店！公民館備蓄アルファ米の試食や、家庭でも取り組んでほしい、「ローリングストック」を推奨。各テーブルでは公民館地域を超えた交流の機会となりました。

フィーバーは、キラキラさがピカイチだったというディスコキング&クイーンとともに「YMCA」の曲で打ち上げました。

大声援！ゲスト演舞は 103 Voicelab0

※6地区館(二井田・真中・下川沿・矢立・花岡・比内)の公民館職員チームで合同開催いたしました。

4月は、就職や進学、人事異動などで新しい環境に希望に燃えて挑戦する人の多い時期、「健康」に留意して頑張してほしいものです。

ところで、今日の日本人は日々の暮らしやメディアの情報などから、さまざまな健康法や健康食品、健康器具などに憂き身をやつしています。

「健康」という言葉は明治以後の言葉であるといえます。それ以前、つまり江戸時代には「健康」という言葉はなく、城中の殿様から長屋の住人までが口癖のように言っていたのは「養生」という言葉で、養生とはたんなる健康法ではなく、もっと広く深い意味、つまり生き方にかかわる人生の指針であり、それはまた江戸に生きていた人々が共有していた一つの「文化」であったようです。貝原益軒が「養生訓」のなかでいくつか人生の楽しみについて述べていますが、第一にあげているのは「自然を楽しむ」ということです。自然を楽しむといえは、現代人にとっては、山に登るとか海で泳ぐとか川辺でキャンプすることなどをいうようですが、益軒のいう自然を楽しむというのは、「目の前に満ち満ちている天の文(あや)、地の文(あや)を見て感動すること」と述べています。

花岡川の土手の桜も植樹してちょうど60年、春爛漫を迎える季節を迎えます。自然豊かな町、花岡、春の山菜が出回る時期にもなります。クマと遭遇しないよう留意して自然を楽しみ「養生」したいものです。

花岡長寿大学

令和5年度花岡長寿大学の修了式を開催しました。

◎令和5年度永年受講称号授与者

名誉博士号(10年受講) 佐々木ミチエさん、高畑昭子さん、藤盛秀子さん、村木禮子さん
 教養修士号(5年受講) 浅利信子さん、阿部フミさん、高杉あつ子さん、田中清美さん
 山内昭治さん

花岡長寿大学では令和6年度を受講生を募集しています。

入学を希望される方は会費(年会費2,000円)を添えて公民館へお申し込みください。年度途中での入学も可能です。



花矢図書館から



新着図書

一般書が「マンガでわかる! 男女で知っておきたい更年期」、「科学がつきとめた中年太りのすごい解消法」、「ほっこりみんなの育児ワザ大全」、「透明になれなかった僕たちのために」、「となりのナースエイド」、「ひとひらの夢」、「異常手口」です。

児童書が「マンガでわかる! 小学生のための『やりたいこと』の見つけ方」、「日本遺産〔3〕」、「三省堂例解小学漢字辞典」、「あしたの笑顔」、「おきにいのりのしろいドレスをきてレストランにいきました」、「チクタク村はおおさわぎ」、「トコトコだいこんりょうりたび」です。

開館時間 火～金 9～19時 土・日 9～17時 休館日: 月・祝日

花矢図書館: ☎ 46-1557

